

# 未来を開く

長井市立長井北中学校

No2 令和5年4月7日

## 令和5年度 入学式



92名の新生を迎え、入学式を挙行了しました。  
校地内に凛として立つ桜の木々もほぼ満開。新生の新たな出発に花を添えてくれています。

### 【学校長式辞より】

92名の新生の皆さん、ご入学おめでとう。今ここに居ない先輩の2・3年生を含め、私達教職員も、皆さんの入学を心待ちにしていました。心から歓迎いたします。

皆さんはこれまでの12年間、いろいろな体験を通してすくすくと成長し、それぞれの小学校の最高学年として、立派に役割を果たしてきたことと思います。今日からはよいよ中学生、北中の1年生です。

本校は、今年で創立42年目を迎えた歴史と伝統のある学校です。生徒も先生方も元気いっぱい学校づくりに取り組んでいます。皆さんもその仲間入りをして、新たな北中の文化をいっしょに創っていくことになります。

これからの中学校生活で、私が皆さんに繰り返し話す言葉があります。それは、中学校は「大人になるための学校」という言葉です。

私は、大人とは、その場に応じて望ましい判断をし、自分らしさを発揮しながら自分で行動できる人と考えています。いわゆる『自立』です。

自立した人になるために、特に中学校生活の中で大切にしてほしいことを3つ話します。

1つ目は、「何事にも全力で挑戦すること」です。学習、生徒会活動や行事、部活動すべてにおいて全力です。中学校は小学校に比べ、自分達で考え、自分達で取り組むことが多くなります。それらのことに全力で挑戦してほしいのです。そうすることで、得意、興味など自分のよさを発見できるからです。今までは決まった道筋を歩んできましたが、3年後には、進む道筋を自分で決めなければなりません。そのためにも、何事にも全力で挑戦し、得意、興味など自分のよさを見つけてほしいのです。

2つ目は、「当たり前のことを当たり前でできる人になること」です。当たり前のこととはどんなことでしょうか。身だしなみ、掃除や係活動、挨拶、時間行動などです。そういったことを人から言われるのではなく、自分から気付き、進んでできる人になってほしいのです。これらのことをしっかりできる人を皆さんはどう思いますか。きっと、この人になら何を任せても大丈夫、頼りになるというような信頼できる人と思うのではないのでしょうか。当たり前のことを当たり前で、他から信頼される人になってほしいのです。

3つ目が、「よく考え、よく話し合



